

目安

- 保管方法 -

- 9月
|
10月
1. まず始めに、飼育ケースの中の死骸やゴミなどを取り除きます。
 2. 十分霧吹きをして、飼育ケース内の湿度を保つようにサラララップでフタをします。
- 11月
|
12月
3. 飼育ケースを温度変化のあまり無い暗い所に保管します。
 4. たまに飼育ケースの中を確認してマットが乾いている様であれば霧吹きをする。
産卵後約2ヶ月以降は自然にマットが乾きカラカラになってもそのまま大丈夫です。
(卵は仮死状態になります)
 5. 産卵後約2ヶ月経過したら水遣りを中止する。次第にマットがカラカラに乾いていきます。
- 12月
|
3月
6. 春までそのままマットがカラカラの状態に保管する。(寒い場所も大丈夫です)
- 3月
|
4月
7. 3月中旬頃から飼育ケースを取り出し、暖かい所へ置いておきます。
マットがカラカラの状態の場合はコップなどでゆっくり時間(2日以上)を掛けたつぷりの水で湿らせます。マットを摘んで団子状になる位が適度な湿度です。
- 4月
|
6月
6. スズムシが生まれてくるまで絶対に飼育マットが乾かない様に注意して霧吹きをします。
 7. 外気温が25 を超える様になると孵化が始まります。(5月~6月、気温によって変わります)
 8. 孵化が始まると、しばらくの間は、毎日の様に生まれてくるので、毎日欠かさずチェックしましょう。

目安

- 各時期ごとの注意事項 -

- 9月
|
10月
1. 産卵後2ヶ月以内の卵を移動させない。(マットを掘り起こしたりしないように)【重要】
 2. なるべく温度変化の少ない暗い場所で飼育ケースを保管する。
- 11月
|
12月
3. 産卵後2ヶ月間は**絶対**に飼育マットを乾燥させない。【重要】
2ヶ月以降は自然にマットが乾いてカラカラになっても卵は仮死状態になるので水をあげなくても大丈夫。
 4. 飼育マットは**絶対**に凍らせないようにする。【重要】
マットが乾燥して凍らない様で有れば寒い場所(0 以下)でも耐えられます。
- 12月
|
3月
5. 上の時期と同じく飼育マットは**絶対**に凍らせないようにする。【重要】
マットが乾燥して凍らない様で有れば寒い場所(0 以下)でも耐えられます。
- 3月
|
4月
6. 飼育マットを湿らせすぎない。(卵にカビが生え腐敗してしまいます)【重要】
 7. 3月中旬頃飼育ケースを取り出してからは、マットを**絶対**に乾かさないうにする。【重要】
- 4月
|
6月
8. 上の時期と同じくマットを卵が孵化するまで**絶対**に乾かさないうにする。【重要】
 9. 暖かくなってきたら孵化の開始時期を見逃さない様にこまめにケース内をチェックしましょう。
 10. 幼虫が孵化したら手で**絶対**に触らない。
 11. 幼虫を移動させる際は紙の上などに載せて移動させる。

【重要】と書いてある部分を特に注意して守らないと繁殖に失敗する可能性があります。